

新幹線が長崎にやってくる！

長崎観光の2022年の最大の話題は、9月23日に開業する西九州新幹線（佐賀・武雄温泉一長崎）だろう。既存の新鳥栖駅（佐賀）と新設の武雄温泉駅を結ぶ区間は在来線特急を利用。武雄温泉駅のホーム対面で乗り換える「リレー方式」でのスタートになるが、沿線自治体や観光地の期待は大きい。利用客の受け入れに向けた魅力づくりがハード、ソフト両面で進み、県民が誇る「おもてなしの文化」に一層磨きがかかりそう。

諫早市、大村市といった沿線自治体の中でも長崎市のまちづくりは「100年に一度」と言われる大変革の真ただ中にある。終着駅となるJR長崎駅の隣接地にコンベンション施設「出島メッセ長崎」とヒルトン長崎が既に開業。高架下には今春、地元の新鮮で豊富な農水産物などを扱う飲食店、土産品店など約50店舗が入った「長崎街道かもめ市場」がオープンし、早くもにぎわっている。新たな駅ビルも2023年秋の完成が予定されている。

長崎駅北側の近接地でも交流人口拡大に向けた大規模な再開発が進む。サッカーJ2「V・ファーレン長崎」の本拠地となるスタジアムを核とした「長崎スタジアムシティプロジェクト」が進行中。通販大手ジャパネットホールディングス（佐世保市）が2024年を目標にアリーナやホテル、賃貸オフィス、商業施設などを一体的に整備する計画だ。

新幹線ルートからやや離れた地域も観光客の取り込みを狙う。平戸や西海、離島の新上五島や宇久島は「現地でしか味わえない」をキーワードに新鮮な魚やジビエを取り入れたご当地料理の提供を始め、開業30周年を迎えたハウステンボス（佐世保市）も各種記念イベントを展開中。自然や歴史文化豊かな長崎には多種多様な魅力がある。この機会にぜひ、周遊してほしい。

長崎新聞社 報道部長 向井真樹



長崎市役所に設置された西九州新幹線開業日までのカウントダウンボード＝長崎市



大村湾の港からクレーンで地上に移される西九州新幹線「かもめ」＝長崎県東彼杵郡川棚町



JR長崎駅の高架下にオープンした「長崎街道かもめ市場」＝長崎市